

令和5年度

電子入札システム機能改良のお知らせ
【応札者向け】

令和6年3月

<目 次>

1. 電子入札システムの非落札者説明要求機能の変更	1
1.1 電子入札システム.....	3
1.1.1 調達案件概要画面	3
1.2 説明要求機能.....	4
1.2.1 「非落札者通知」調達案件一覧画面	4
1.2.2 調達案件概要画面	5
2. 辞退届提出時期の変更	6
2.1 電子入札システム.....	7
2.1.1 入札状況一覧画面	7
2.1.2 調達案件概要画面	8
2.1.3 作業状況確認画面	9
2.2 説明要求機能.....	10
2.2.1 調達案件概要画面	10
3. 説明要求機能の案件名称検索可能化	11
3.1 説明要求機能.....	11
3.1.1 調達案件検索画面	11

今回の機能改良項目は以下のとおりです。

項番	改良項目	改良内容	操作方法
1	電子入札システムの非落札者説明要求機能の変更	入札方式と落札方式及び工事／コンサル区分に基づき、説明要求可能となる条件を満たした案件の場合のみ、非落札者が発注者に対して非落札の理由請求をすることが可能となります。	P1
2	辞退届提出時期の変更	随意契約以外の入札方式の案件において、参加意思のない業者は入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届を提出することが可能となります。	P6
3	説明要求機能の案件名称検索可能化	説明要求機能の調達案件検索画面に、新たに「案件名称」項目のテキストボックスが追加され、「案件名称」に入力した値と、調達案件の案件名称とで部分一致する案件のみの検索が可能となります。	P11

1. 電子入札システムの非落札者説明要求機能の変更

非落札者から発注者に対しての非落札の理由請求は、本来であれば、入札方式と落札方式及び工事／コンサル区分に基づいた、説明要求可能となる条件を満たした案件でなければ、理由請求をすることが手続きとして認められていないのに対し、今までは、その条件に関わらず、公募型指名競争入札（標準型）方式、公募型指名競争入札（施工計画審査型）方式以外の案件であれば、理由請求をすることが可能となっていました。

今回の改良により、説明要求可能となる条件を満たした案件のみが、電子入札システムの「非落札者通知」調達案件一覧画面に表示されるようになります。これにより、条件を満たさない案件は、非落札者が発注者に対して理由請求をすることができなくなります。

また、改良適用日前に公示されていた案件で、改良前は「非落札者通知」調達案件一覧画面に表示されていた案件であっても、説明要求可能となる条件を満たさない案件であれば、改良適用後は「非落札者通知」調達案件一覧画面に表示されなくなります。

「表 1-1 非落札者説明要求可否一覧」で、「改良後の説明要求可否」が「○」の案件が説明要求可能となる条件を満たした案件、「改良後の説明要求可否」が「×」の案件が説明要求可能となる条件を満たさない案件になります。

表 1-1 非落札者説明要求可否一覧

入札方式	工事／ コンサル	落札方式	改良前の 説明要求 可否	改良後の 説明要求 可否
一般競争入札（標準型）	工事	価格競争	○	×
		総合評価	○	○
	コンサル	価格競争	○	×
		総合評価	○	×
一般競争入札（施工計画審査型）	工事	価格競争	○	×
		総合評価	○	○
一般競争入札（同時提出型）	工事	総合評価	○	○
一般競争入札（段階選抜型）	工事	総合評価	○	○
一般競争入札（簡易確認型）	工事	総合評価	○	○
公募型指名競争入札（標準型）	工事	価格競争	×	×
		総合評価	×	○
公募型指名競争入札（施工計画審査型）	工事	価格競争	×	×
		総合評価	×	○
通常型指名競争入札方式	工事	価格競争	○	×
	コンサル	価格競争	○	×
		総合評価	○	×
公募型競争入札方式	コンサル	価格競争	○	×
		総合評価	○	×
簡易公募型競争入札方式	コンサル	価格競争	○	×
		総合評価	○	×
公募型プロポーザル方式	コンサル	価格競争	○	×
簡易公募型プロポーザル方式	コンサル	価格競争	○	×
標準型プロポーザル方式	コンサル	価格競争	○	×
工事希望型競争入札方式	工事	価格競争	○	×
		総合評価	○	○
随意契約	工事	価格競争	○	×
	コンサル	価格競争	○	×

1.1 電子入札システム

1.1.1 調達案件概要画面

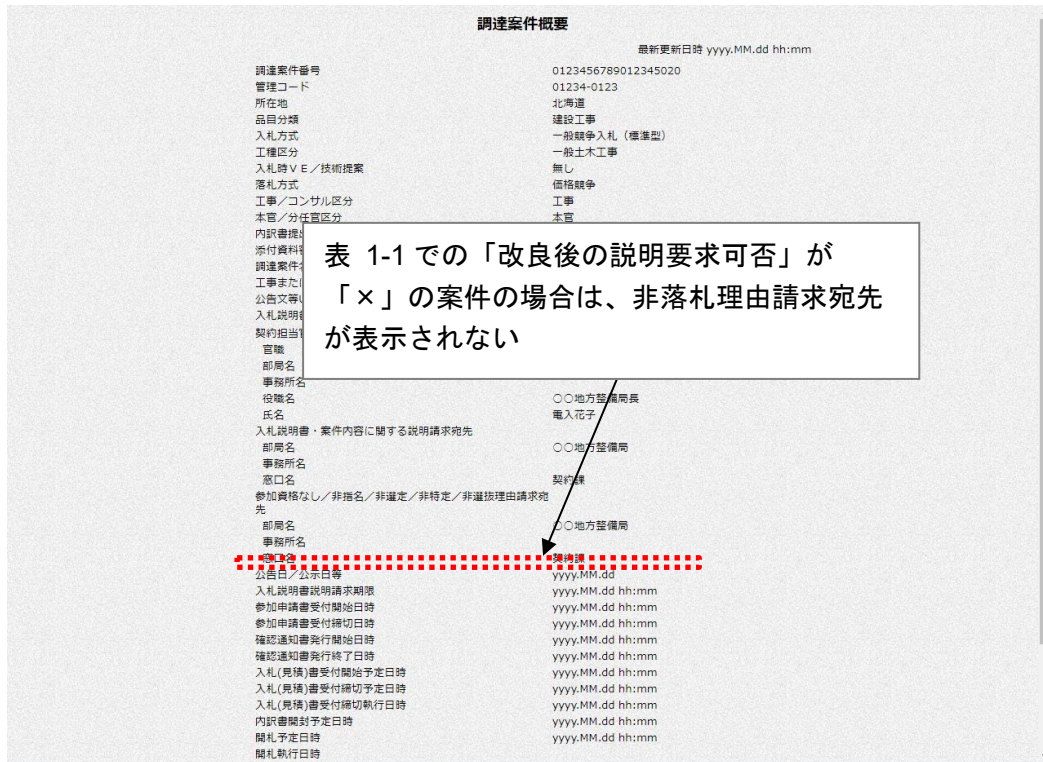


図 1-1 調達案件概要画面

◆ 非落札理由請求宛先の表示

調達案件概要画面において、表 1-1 での「改良後の説明要求可否」が「×」の案件の場合は、非落札理由請求宛先が表示されないようになります。
 表示されない項目については、以下の表 1-2 のとおりです。

表 1-2 表示されない項目一覧

項番	大項目名	小項目名
1	非落札理由請求宛先	部局名
2		事務所名
3		窓口名

1.2 説明要求機能

1.2.1 「非落札者通知」調達案件一覧画面

「非落札者通知」調達案件一覧

表示案件 1-1
全案件数 1

最新表示

番号				説明書
1	A地区共同工事	一般競争 (標準型)	yyyy/MM/dd	選択
2	B地区共同工事	一般競争 (同時提出型)	yyyy/MM/dd	選択
3	C地区共同工事	一般競争 (段階選抜型)	yyyy/MM/dd	選択

表 1-1 での「改良後の説明要求可否」が「×」の案件は表示されない

図 1-2 「非落札者通知」調達案件一覧画面

◆ 各入札方式の案件の表示条件の変更

「非落札者通知」調達案件一覧画面において、表 1-1 での「改良後の説明要求可否」が「×」の案件は表示されないようになります。

1.2.2 調達案件概要画面

調達案件概要

最新更新日時 yyyy.MM.dd hh:mm

調達案件番号	0123456789012345070
管理コード	01234-0123
所在地	北海道
品目分類	建設工事
入札方式	一般競争入札（標準型）
工程区分	一般土木工事
入札時VE/技術提案	無し
落札方式	価格競争
工事/コンサル区分	工事
本番/分任官区分	本番
内訳書提出	有り
添付資料容量	3MBまで

表 1-1 での「改良後の説明要求可否」が「×」の案件の場合は、非落札理由請求宛先が表示されない

入札説明書・案件内容に関する説明請求宛先	〇〇地方整備局
部局名	〇〇課
事務所名	〇〇地方整備局
窓口名	
参加資格なし/非指名/非選定/非特定/一次審査補正理由	
請求宛先	
部局名	
事務所名	
窓口名	
公示日/公示日等	yyyy.MM.dd
入札説明書説明請求期限	yyyy.MM.dd hh:mm
参加申請書受付開始日時	yyyy.MM.dd hh:mm
参加申請書受付締切日時	yyyy.MM.dd hh:mm
確認通知書発行開始日時	yyyy.MM.dd hh:mm
確認通知書発行終了日時	yyyy.MM.dd hh:mm
入札(見積)書受付開始予定日時	yyyy.MM.dd hh:mm
入札(見積)書受付締切予定日時	yyyy.MM.dd hh:mm
入札(見積)書受付締切執行日時	yyyy.MM.dd hh:mm
内訳書開封予定日時	yyyy.MM.dd hh:mm
開札予定日時	yyyy.MM.dd hh:mm
開札執行日時	yyyy.MM.dd hh:mm

図 1-3 調達案件概要画面

◆ 非落札理由請求宛先の表示

調達案件概要画面において、表 1-1 での「改良後の説明要求可否」が「×」の案件の場合は、非落札理由請求宛先が表示されないようになります。
表示されない項目については、以下の表 1-3 のとおりです。

表 1-3 表示されない項目一覧

項番	大項目名	小項目名
1	非落札理由請求宛先	部局名
2		事務所名
3		窓口名

2. 辞退届提出時期の変更

今までは、入札方式が通常型指名競争入札で、工事/コンサル区分が「コンサル」の案件のみで、入札（見積）書受付開始予定日時前での辞退届提出が可能となっていました。

今回の改良により、随意契約以外の入札方式の案件（表 2-1 に示す入札方式の案件）において、工事/コンサル区分に関わらず、参加意思のない業者は入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届を提出できるようになります。

なお、入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届が提出された場合、画面に表示される案件状況は「入札（見積）受付」に更新されることはなく、表 2-1 に記載の案件状況のままとなります。

表 2-1 改良対象の各入札方式における
入札（見積）書受付開始予定日時前かつ辞退届提出ありの案件状況

項番	改良対象の入札方式	画面に表示される案件状況
1	一般競争入札（標準型）	申請審査（通知）中
2	一般競争入札（施工計画審査型）	申請審査（通知）中
3	一般競争入札（同時提出型）	申請受付中
4	一般競争入札（段階選抜型）	申請審査（通知）中
5	一般競争入札（簡易確認型）	申請受付中
6	公募型指名競争入札（標準型）	申請審査（通知）中
7	公募型指名競争入札 （施工計画審査型）	申請審査（通知）中
8	通常型指名競争入札	申請審査（通知）中
9	公募型競争入札	申請審査（通知）中
10	簡易公募型競争入札	申請審査（通知）中
11	公募型プロポーザル	特定審査（通知）中
12	簡易公募型プロポーザル	特定審査（通知）中
13	標準プロポーザル	特定審査（通知）中
14	工事希望型競争入札	申請審査（通知）中

2.1 電子入札システム

2.1.1 入札状況一覧画面

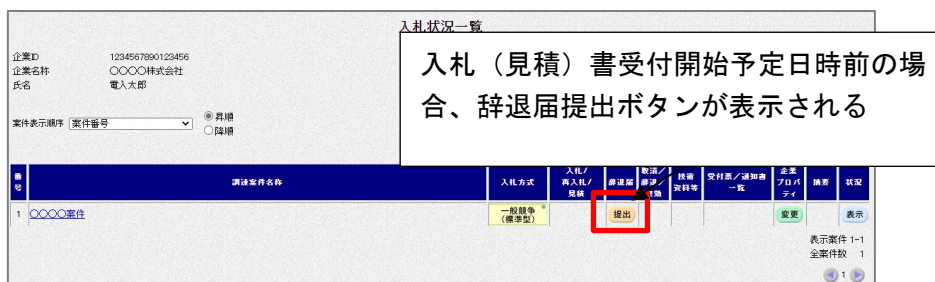


図 2-1 入札状況一覧画面
入札（見積）書受付開始予定日時前

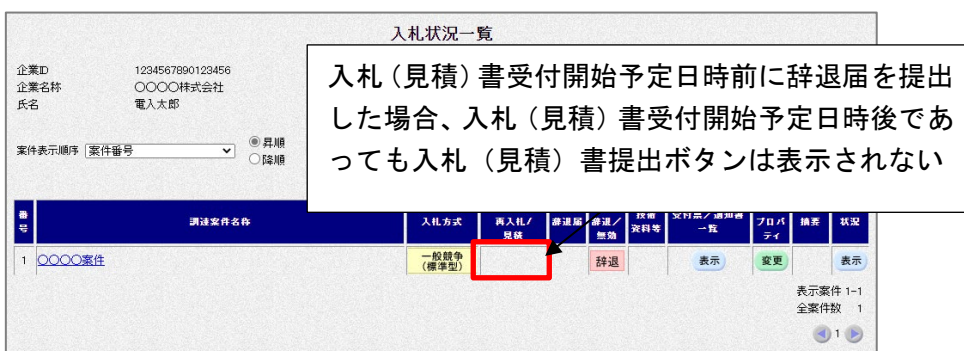


図 2-2 入札状況一覧画面
入札（見積）書受付開始予定日時後

◆ 辞退届提出ボタンの表示条件変更

随意契約以外の入札方式の案件（表 2-1 に示す入札方式の案件）において、入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届提出ボタンが表示されるようになります。なお、入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届を提出した場合は、入札（見積）書受付開始予定日時後であっても入札（見積）書提出ボタンは表示されません。

2.1.2 調達案件概要画面

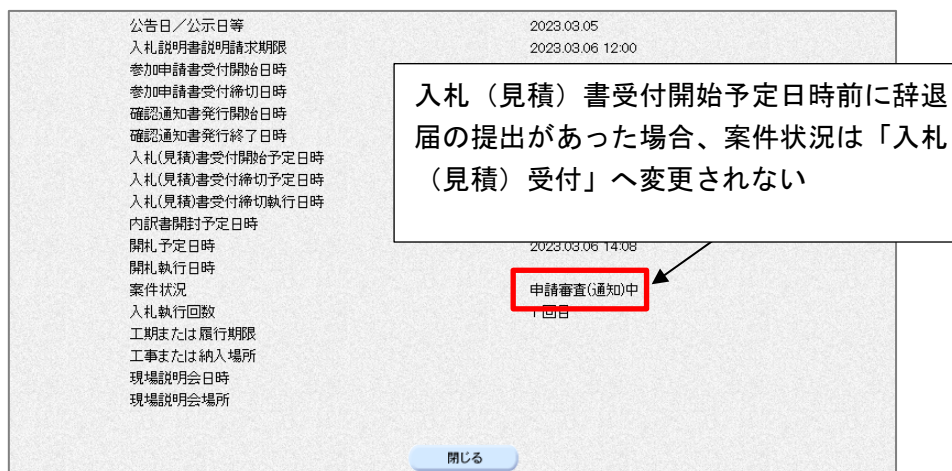


図 2-3 調達案件概要画面

◆ 案件状況の表示条件変更

入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届が提出された案件に限り、画面に表示される案件状況は「入札（見積）受付」に更新されず、辞退届提出前に表示されていた案件状況の表示のままとなります。なお、入札（見積）書受付開始予定日時後に辞退届、入札（見積）書の提出があった場合は、「入札（見積）受付」で表示されます。

2.1.3 作業状況確認画面

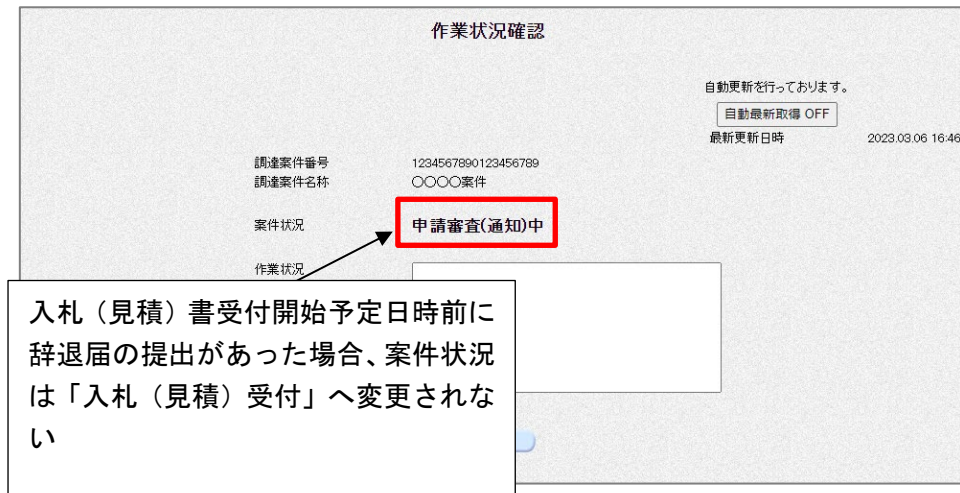


図 2-4 作業状況確認画面

◆ 案件状況の表示条件変更

入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届が提出された案件に限り、画面に表示される案件状況は「入札（見積）受付」に更新されず、辞退届提出前に表示されていた案件状況の表示のままとなります。なお、入札（見積）書受付開始予定日時後に辞退届、入札（見積）書の提出があった場合は、「入札（見積）受付」で表示されます。

2.2 説明要求機能

2.2.1 調達案件概要画面

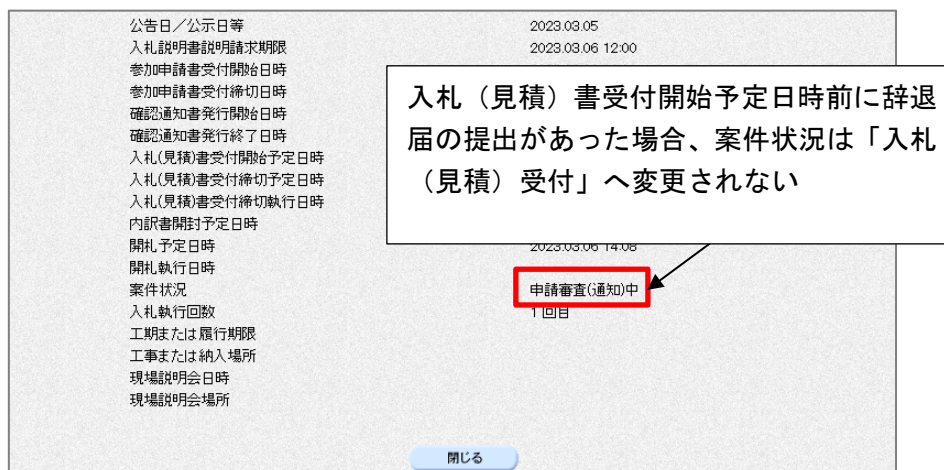


図 2-5 調達案件概要画面

◆ 案件状況の表示条件変更

入札（見積）書受付開始予定日時前に辞退届が提出された案件に限り、画面に表示される案件状況は「入札（見積）受付」に更新されず、辞退届提出前に表示されていた案件状況の表示のままとなります。なお、入札（見積）書受付開始予定日時後に辞退届、入札（見積）書の提出があった場合は、「入札（見積）受付」で表示されます。

3. 説明要求機能の案件名称検索可能化

説明要求機能の調達案件検索画面に「案件名称」項目のテキストボックスが追加され、「案件名称」項目に入力された値を検索条件として、調達案件の案件名称と部分一致した案件のみを調達案件一覧画面に表示できるようになります。

3.1 説明要求機能

3.1.1 調達案件検索画面

図 3-1 調達案件検索画面

- ◆ 検索条件項目に「案件名称」項目の追加
調達案件検索画面の検索条件項目において、「公告年月」項目と「表示件数」項目の間に「案件名称」項目が新規追加されます。

- 「案件名称」項目の初期値
「案件名称」項目の初期値は未入力状態となります。

➤ 「案件名称」項目の入力値エラーチェック

「案件名称」テキストボックスの入力値が256バイトを超えた場合、「案件名称」項目の下に、次のエラーメッセージが赤字で表示されます。

「案件名称が長すぎます。256バイト以下で入力して下さい。」



図 3-2 調達案件検索画面_入力値エラーチェック

➤ 「案件名称」項目の初期化

現行の仕様において、調達案件検索画面に検索条件を入力後に調達案件一覧画面に遷移し、再度、調達案件検索画面に遷移した場合、検索条件に入力した項目は全て初期値に戻ります。

新規追加となる「案件名称」項目も同様で、初期値（未入力状態）に戻ります。

➤ 「案件名称」項目の検索方法

調達案件検索画面にて「案件名称」項目に値を入力し検索した場合、調達案件の案件名称と部分一致した案件が調達案件一覧画面に表示されます。

なお、「案件名称」項目以外の検索条件項目が入力されている場合、「案件名称」項目と入力された検索条件項目は AND 検索（複数の検索条件を全て含むものを検索）となります。

検索例：「入札方式」項目の選択かつ「案件名称」項目を入力した場合

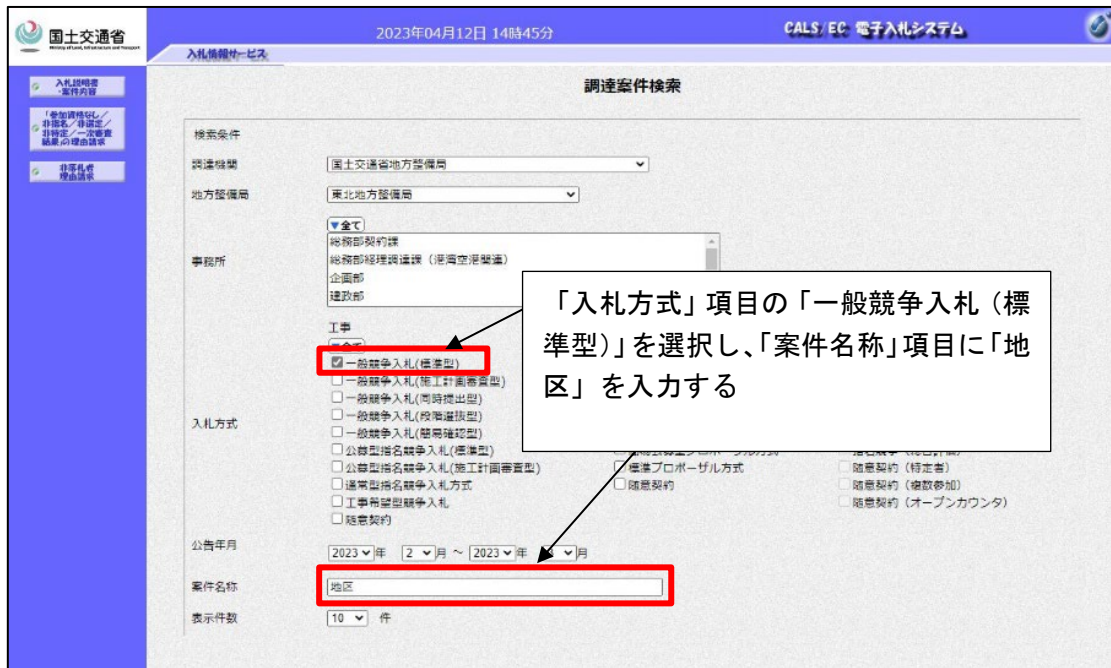


図 3-3 調達案件検索画面_検索条件入力



図 3-4 入札説明書・案件内容調達案件一覧画面

- 「案件名称」項目の値入力時における調達案件検索結果上限エラーチェック
 調達案件検索画面において、「案件名称」項目に検索条件として値を入力し、調達案件一覧画面へ遷移するボタンを押下した際、検索結果として表示される調達案件の数が検索結果上限（システム上で設定された値）を超えている場合、調達案件一覧画面には遷移せず、「案件名称」項目の下に次のエラーメッセージが赤太字で表示されます。

「検索結果が上限を超えています。検索条件を見直し再度検索して下さい。」

なお、「案件名称」項目に値が入力されていない場合は、機能改良前の仕様のまま、調達案件検索結果上限エラーチェックは行われません。



図 3-5 調達案件検索画面_調達案件検索結果上限エラーチェック

以上